



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月27日

上場会社名 信越ポリマー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7970 URL <https://www.shinpoly.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 義昭
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長 (氏名) 平澤 秀明 (TEL) 03(5289)3716
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	18,332	△5.7	1,359	△25.3	1,581	△12.9	1,251	△2.9
2020年3月期第1四半期	19,438	△6.1	1,820	0.3	1,816	△10.3	1,288	△10.4

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 423百万円(△71.3%) 2020年3月期第1四半期 1,477百万円(ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	15.47	15.45
2020年3月期第1四半期	15.86	15.85

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	103,077	84,156	81.4
2020年3月期	105,378	84,538	80.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 83,926百万円 2020年3月期 84,308百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	ー	8.00	ー	10.00	18.00
2021年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
2021年3月期(予想)	ー	9.00	ー	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2021年3月期の配当予想につきましては、上記のとおり公表いたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	35,000	△13.1	2,600	△33.8	2,800	△30.6	2,100	△31.6	25.96
通期	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2021年3月期の通期業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による業績への影響を合理的に算定することが困難であるため未定としております。通期業績予想の算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	82,623,376株	2020年3月期	82,623,376株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,739,702株	2020年3月期	1,744,611株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	80,880,367株	2020年3月期1Q	81,246,074株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、保護主義的な経済政策に伴う通商摩擦の深刻化の度合いが増すなかで、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により経済活動が停滞し、先行きに一段と不透明感が増しました。米国では輸出の減少が続き、雇用環境は悪化し、個人消費も軟調に推移しました。欧州では内需の減少が続き、製造業を中心に景気減速がみられました。アジアでは全体として景気は軟調に推移し、中国において景気減速が継続しました。

日本経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、個人消費、生産及び輸出が減少し、企業の設備投資も弱含んだ状況が続きました。

当社グループ関連の事業環境につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による半導体業界や電子部品業界の需要の落ち込みはほとんどなかったものの、自動車関連分野の需要が低迷し、全体として厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは新型コロナウイルス感染症対策をとるとともに、国内外において主力製品及び新規事業製品の拡販に注力した営業活動を継続的に展開し、生産・供給体制の拡充を図ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は183億32百万円（前年同期比5.7%減）、営業利益は13億59百万円（前年同期比25.3%減）、経常利益は15億81百万円（前年同期比12.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億51百万円（前年同期比2.9%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 電子デバイス事業

当事業では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による自動車業界の需要低迷等により、自動車関連入力デバイスを中心に出荷が低調に推移し、全体として売上げは前年を下回りました。

入力デバイスは、自動車向けキースイッチの出荷が振るわず、薄型ノートパソコン用タッチパッドの出荷も伸び悩み、売上げは低調に推移しました。

ディスプレイ関連デバイスは、液晶接続用コネクタが引き続き低調に推移し、光学用途向け視野角制御フィルム（VCF）の出荷も振るわず、大幅に落ち込みました。

コンポーネント関連製品は、電子部品検査用コネクタの出荷が順調に推移し、売上げは大幅に伸長しました。

この結果、当事業の売上高は44億17百万円（前年同期比9.8%減）、営業利益は1億3百万円（前年同期比72.5%減）となりました。

② 精密成形品事業

当事業では、半導体関連容器やキャリアテープ関連製品の堅調な出荷が続き、全体として売上げは前年を上回りました。

半導体関連容器は、半導体業界の底堅い需要を背景に300mmウエハ用出荷容器の出荷が堅調に推移し、売上げを伸ばしました。

OA機器用部品は、主力のレーザープリンター用現像ローラの需要が伸びず、売上げは減少しました。

キャリアテープ関連製品は、スマートフォン用や5G通信基地局用の電子部品需要が徐々に回復し、売上げは順調に伸びました。

シリコンゴム成形品は、主力の医療関連製品が堅調に推移したものの、全体として売上げは前年並みとなりました。

この結果、当事業の売上高は83億28百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益は11億52百万円（前年同期比3.6%減）となりました。

③ 住環境・生活資材事業

当事業では、塩ビ関連製品の市場環境が非常に厳しい中、価格改定や生産効率化に努め、新規事業製品の拡販を推し進めましたが、食品包装資材や建設資材、自動車関連の素材系製品が需要低迷の影響を受けて、全体として売上げは前年を下回りました。

ラッピングフィルム等包装資材関連製品は、スーパー向けが堅調だった半面、外食産業向けが落ち込み、全体的に出荷が振るわず、売上げは低調でした。

塩ビパイプ関連製品は、市場競争が激しい中、出荷量が確保できず、売上げは前年を下回りました。

機能性コンパウンドは、ロボットケーブル用の出荷低調が続き、自動車用の需要も減速したため、売上げは振るいませんでした。

外装材関連製品は、価格改定、新規取引先への拡販等により好調を維持して、売上げは堅調に推移しました。

新規事業製品のうち、導電性ポリマーは、スマートフォン部品用途が安定的な出荷ながら、自動車用電子部品用途の受注が戻らず、売上げは低調でした。

この結果、当事業の売上高は41億26百万円（前年同期比13.4%減）、営業利益は32百万円（前年同期比79.8%減）となりました。

④ その他

工事関連では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による需要低迷の影響により、首都圏を中心に商業施設の新築・改装物件、公共施設の内装物件の受注が減少し、全体として、売上げは前年を下回りました。

この結果、その他の売上高は14億60百万円（前年同期比18.7%減）、営業利益は70百万円（前年同期比18.3%減）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、米中貿易摩擦などに加え、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、国内外の経済への影響は大きく、今後の経済活動、企業環境や雇用情勢など先行きは不透明な状況が継続しております。

当社グループの事業環境につきましては、半導体業界や電子部品業界の需要は比較的堅調に推移するものと見られますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、自動車業界の需要回復は遅れるものと見込んでおります。

このような状況において、当社グループといたしましては、新型コロナウイルス感染症による自動車業界での需要低迷の影響を最小限に抑えるため、最適地生産と更なる合理化を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症に対する従業員の感染防止のための徹底した衛生管理と働き方の工夫を行い、万が一の操業停止などに備えたBCM強化を進めてまいります。

2021年3月期第2四半期の連結業績予想といたしましては、売上高350億円、営業利益26億円、経常利益28億円、親会社株主に帰属する当期純利益21億円としております。また、配当予想につきましては、1株当たり年間配当金は前期と同額の18円（第2四半期末9円、期末9円）としております。

なお、2021年3月期第2四半期の連結業績及び配当の予想につきましては、本日（2020年7月27日）、別途「2021年3月期第2四半期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」においても開示しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,514	41,882
受取手形及び売掛金	19,250	17,596
電子記録債権	2,870	2,991
商品及び製品	7,086	6,802
仕掛品	1,396	1,375
原材料及び貯蔵品	3,212	3,344
未収入金	1,090	1,122
その他	765	581
貸倒引当金	△511	△532
流動資産合計	77,676	75,163
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,512	8,248
機械装置及び運搬具（純額）	5,137	5,344
土地	6,652	6,620
建設仮勘定	1,503	1,908
その他（純額）	1,774	1,703
有形固定資産合計	23,579	23,825
無形固定資産		
ソフトウェア	74	99
その他	81	58
無形固定資産合計	156	157
投資その他の資産		
投資有価証券	1,874	1,982
繰延税金資産	1,058	941
その他	1,033	1,006
投資その他の資産合計	3,966	3,930
固定資産合計	27,701	27,914
資産合計	105,378	103,077

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,591	8,796
電子記録債務	2,057	2,510
未払金	1,053	1,138
未払法人税等	520	312
未払費用	2,141	2,115
賞与引当金	1,296	792
役員賞与引当金	57	14
その他	1,053	1,375
流動負債合計	18,771	17,056
固定負債		
退職給付に係る負債	1,341	1,145
その他	726	720
固定負債合計	2,068	1,865
負債合計	20,839	18,921
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,635	11,635
資本剰余金	10,718	10,718
利益剰余金	66,259	66,701
自己株式	△1,683	△1,678
株主資本合計	86,930	87,377
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	190	268
為替換算調整勘定	△2,776	△3,684
退職給付に係る調整累計額	△36	△34
その他の包括利益累計額合計	△2,622	△3,450
新株予約権	229	229
純資産合計	84,538	84,156
負債純資産合計	105,378	103,077

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	19,438	18,332
売上原価	13,308	12,696
売上総利益	6,129	5,635
販売費及び一般管理費	4,309	4,276
営業利益	1,820	1,359
営業外収益		
受取利息	105	96
為替差益	—	100
投資有価証券売却益	76	—
その他	40	35
営業外収益合計	223	231
営業外費用		
支払利息	5	7
為替差損	214	—
その他	7	1
営業外費用合計	226	9
経常利益	1,816	1,581
税金等調整前四半期純利益	1,816	1,581
法人税、住民税及び事業税	238	245
法人税等調整額	289	85
法人税等合計	527	330
四半期純利益	1,288	1,251
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,288	1,251

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	1,288	1,251
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△72	77
為替換算調整勘定	258	△907
退職給付に係る調整額	2	2
その他の包括利益合計	189	△827
四半期包括利益	1,477	423
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,477	423

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子デバイス	精密成形品	住環境・ 生活資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,894	7,979	4,767	17,641	1,796	19,438
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,894	7,979	4,767	17,641	1,796	19,438
セグメント利益(営業利益)	376	1,195	161	1,733	86	1,820

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおります。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子デバイス	精密成形品	住環境・ 生活資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,417	8,328	4,126	16,872	1,460	18,332
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,417	8,328	4,126	16,872	1,460	18,332
セグメント利益(営業利益)	103	1,152	32	1,288	70	1,359

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおります。